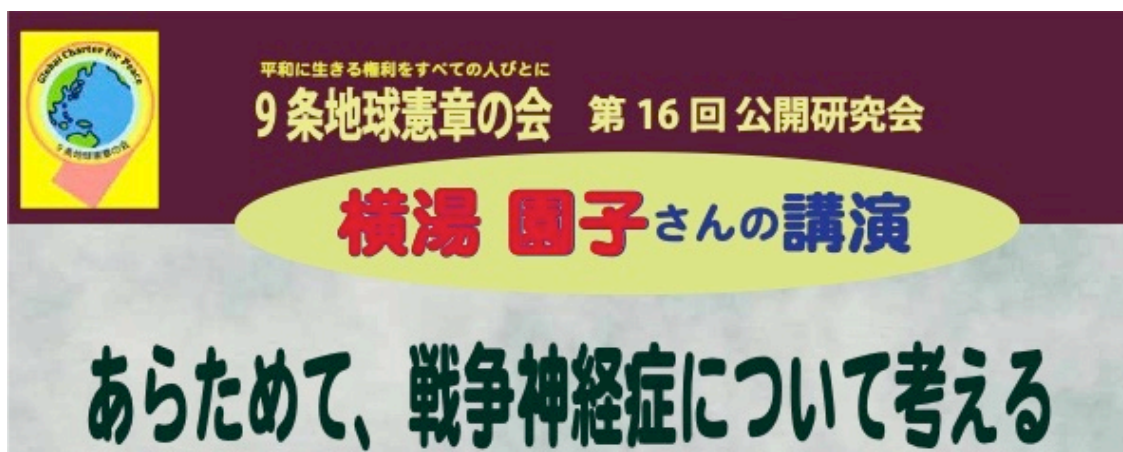


2019年11月14日

第 回研究会 横湯園子さん講演

「あらためて戦争神経症について考える」



地球平和憲章（案）では「戦争は人を狂わせます。

人間性を奪うものです。」と訴えています。戦争に投じられた兵士たちの心がいかに無惨な壊れ方をするのか、いかにその回復が困難であるか、臨床心理学の立場から膨大な実例を踏まえ、戦争の非人間性を厳しく告発しました。

【参考文献】

ジュデイス・ハーマン『心的外傷と回復』（みすず書房）

加藤清『この世とあの世の風通し 精神科医 加藤清は語る』（春秋社）

エイブラム・カーデイナー『戦争ストレスと神経症』（みすず書房）

ハリス『海を渡るジュリア』（岩波書店）

【ビデオ】「隠された日本兵のトラウマ～陸軍病院 8002 人の病症日誌～」

横湯園子 専門は教育臨床心理学（clinical educational psychology）

臨床心理士（clinical psychotherapist）

1939年生まれ 日本社会事業大学 社会福祉学部卒

国立国府台病院児童精神科病棟児対象の治療的教育の場の教師を15年間勤務する。

1965年 国立病院内の児童精神科病棟に、日本で初めて、

学校恐怖症児童＝現在の不登校児・生徒の教育を保障する院内学級が設置。

1970年から勤務し、最後の年、東京大学教育学部に都道府県派遣研究生として研究をまとめる。

『登校拒否 専門機関での援助と指導の記録』（あゆみ出版）に続き、

『登校拒否 新なる旅立ち』（新日本出版社）としてまとめる。

千葉県市川市市教育センターの指導主事、

国立精神神経センター・児童思春期部客員研究員を経て、大学に身を移す。

女子美術大学助教授、北海道大学教授、中央大学教授を務め、

2010年3月定年退職。

北海道大学教育学部に新学問領域である教育臨床講座が設置。

教育臨床心理学の確立に努める。

『教育臨床心理学』（東京大学出版会）

『ひきこもりからの出発』（岩波書店）

『魂への旅路』（岩波書店）

中央大学においては教育臨床に関わる事柄をまとめ、専門家・研究者養成に努める。

退職後も、求めに応じて困難事例のカウンセリング、治療、研修に関わっている。社会的には

・子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会共同代表

(Assoc. of Citizens & NGOs for Alternative Report UN. CRC Co-President)

・横湯園子教育臨床心理研究所

・「女の平和」発起人、世話人代表





# アーベル指輪の おまじない

登校拒否児とともに生きて

岩波書店



横湯園子

花がふつてくると思つた  
花がふつてくるとおもつた  
このころにふつてくるとおもつた



登校拒否  
——  
新たなる旅立ち

横湯園子



ひきこもり  
からの  
出発

ある  
カウンセリングの  
記録

横湯園子

日本文学

横湯園子

文庫  
1111

# 魂への旅路

戦災から震災へ



# 教育臨床心理学

愛・いやし・人権 そして回復

横淵園子 一著

Yokoyama Sonoko



東京大学出版会